

TAZMO®

第53期 年次報告書 2024年1月1日~2024年12月31日

Technology for People's Future

半導体製造装置を中心に業績拡大 更なる成長に向け業務改革



代表取締役社長 佐藤 泰之

- ・顧客ニーズの把握と求められる製品の開発
- ・継続した原価低減による利益率の向上

▶業績及び事業報告

2024年の当社グループが属する半導体業界におきましては、メモリー半導体の設備投資がなかなか回復してこないうえ、EV(電気自動車)が思ったほど売れないことによるパワー半導体の設備投資が鈍化する動きが見られました。一方、AI向け半導体の需要は大きく高まっており、設備投資も堅調に推移いたしました。そのような状況のなか、タツモの主力製品のひとつであるアドバンスド・パッケージ用装置は、順調に売上を計上することができました。搬送装置につきましても、生産能力を増強したことにより生産能力が上がり、順調に売上を計上することができました。また、検収が遅れていた洗浄装置も売り上げを計上すること

▶「SEMICON Japan 2024」へ出展

2024年12月11日から13日にかけて東京ビッグサイトで開催された「SEMICON Japan 2024」へ出展いたしました。2023年度も出展しましたが来場者数も前年に比べ大きく伸びており、当社ブースへも前年比で3倍以上の方にお越しいただきました。実機を展示した搬送ロボットその他、パネル展示したアドバンスド・パッケージ用装置やウェーハ洗浄装置などに大変興味を持っていただき、受注につながるよう営業活動を進めております。今後も展示会等への出展を継続し、タツモ株式会社の知名度向上を図ってまいります。



ができ、その結果、当社の主力セグメントでありますプロセス機器事業におきましては増収となりました。

金型・樹脂成形事業におきましては、スマートフォンやパソコン、遊戯機器向けのコネクタの需要が減少したことにより減収となりました。表面処理用機器事業におきましては、車載用を中心とするプリント基板メーカーや、半導体用パッケージ基板メーカーの設備投資が比較的堅調であったことから、増収となりました。以上のことから2024年度の連結売上高は増収となりました。

利益面におきましては、利益率の高い半導体製造装置の売上が大きく伸びたことや、搬送ロボットなどの量産効果により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも増益となり、売上・利益ともに過去最高を達成することができました。

▶ 今年度の見通し

2025年度は、アメリカの新政権の動向や、材料費高騰などの懸念はありますが、AI向け半導体の設備投資が引き続き活況であり、それらに利用される半導体製造装置の受注も増えてくるものと思われます。パワー半導体の設備投資は回復まで少し時間はかかるかもしれませんが、メモリーやロジック半導体向けの設備投資は回復してくるものと思われます。また、プリ

ント基板メーカーの設備投資も堅調に推移しており、今後も受注が増えてくるものと予想しております。2024年度末の受注残高は前年度末より少なくなっておりますが、生産性を高め少しでも利益を伸ばせるよう原価低減を進めるとともに、積極的な設備投資を確実に受注につなげ売上・利益を伸ばしてまいります。

▶ 株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

半導体業界の好調により、2024年度も過去最高の売上・利益を計上することができました。今年度の業績は、売上は前年度を上回りますが、利益は減少する予想となっております。これは、最も利益率の高いパワー半導体向け貼合／剥離装置の売上が減少することによるものですが、他の製品でも利益率を高めるため、常に原価低減を進めております。更なる業績拡大のため新製品の開発を進め、早期に市場へ投入できるよう注力しますとともに、人材育成や業務の効率化など会社が成長するよう努めてまいります。

今後とも、株主の皆さまのより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業の概況

2024年度 連結業績

当連結会計年度における経営環境は、地政学リスクの高まり、原材料の高騰や不安定な為替相場など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、AI用半導体需要の増加によりアドバンスドパッケージ用装置の引き合いは強いものの、パワー半導体においては需要の鈍化により設備投資計画を延期する動きが見られました。このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動に注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は358億65百万円（前期比27.4%増）となりました。利益面では、利益率の高い装置が売上計上されたことや、原価低減活動の効果により、営業利益59億17百万円（前期比61.9%増）、経常利益59億98百万円（前期比54.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益42億47百万円（前期比80.2%増）となりました。

2024年度 連結業績

	2024年度 当連結会計年度 自2024年1月1日 至2024年12月31日	ご参考	
		前連結会計年度 自2023年1月1日 至2023年12月31日	対前期 増減率
売上高	35,865 百万円	28,161 百万円	27.4%増
営業利益	5,917 百万円	3,654 百万円	61.9%増
経常利益	5,998 百万円	3,890 百万円	54.2%増
親会社株主に帰属する当期純利益	4,247 百万円	2,356 百万円	80.2%増

セグメント別概況

プロセス機器事業

半導体装置部門

半導体装置部門につきましては、アドバンスドパッケージ向け装置の需要が堅調であり、売上高は123億20百万円（前期比81.9%増）となりました。

搬送装置部門

搬送装置部門につきましては、生産方法の見直しによる生産効率の改善により、売上高は83億18百万円（前期比4.8%増）となりました。

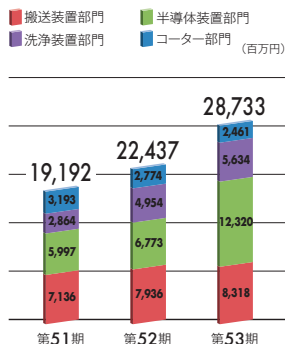
洗浄装置部門

洗浄装置部門につきましては、未だ一部装置の検収遅れはあるものの、概ね計画どおりに進み、売上高は56億34百万円（前期比13.7%増）となりました。

コーター部門

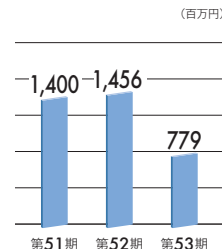
コーター部門につきましては、フラットパネルディスプレイ関連の市場が低迷しており、新規の設備投資がほぼ無いことから、売上高は24億61百万円（前期比11.3%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は287億33百万円（前期比28.1%増）、営業利益54億84百万円（前期比47.6%増）となりました。



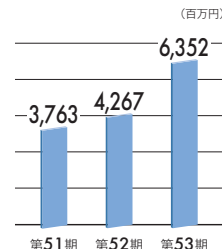
金型・樹脂成形事業

金型・樹脂成形事業につきましては、依然コネクタメーカーの在庫調整が長引いており、売上高は7億79百万円（前期比46.5%減）、営業損失1億28百万円（前期は29百万円の営業損失）となりました。



表面処理用機器事業

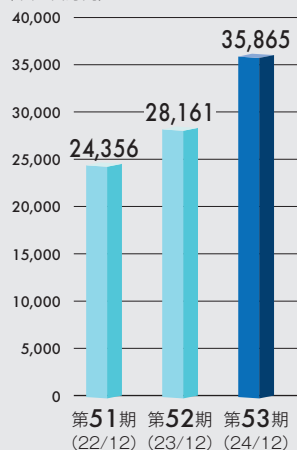
表面処理用機器事業につきましては、概ね計画通りに進み、利益率の高い装置が順調に検収となったことから、売上高は63億52百万円（前期比48.9%増）、営業利益5億78百万円（前期は22百万円の営業損失）となりました。



財務ハイライト(連結)

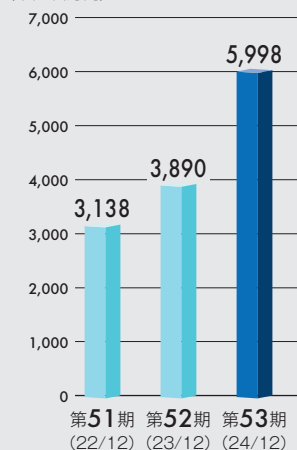
売上高

(単位:百万円)



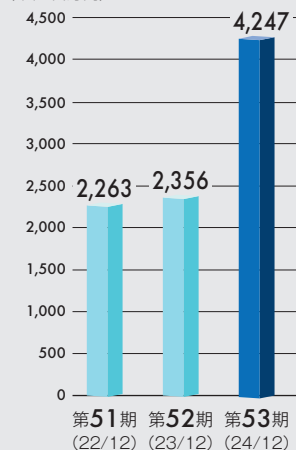
経常利益

(単位:百万円)



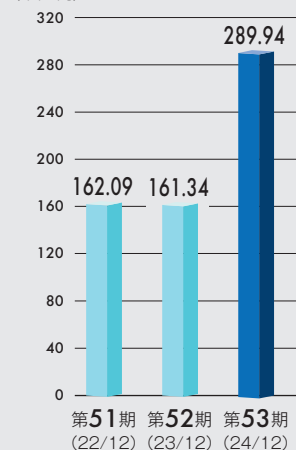
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



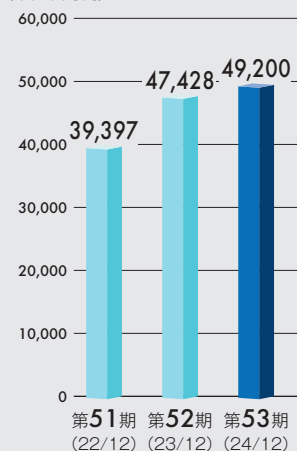
1株当たり当期純利益

(単位:円)



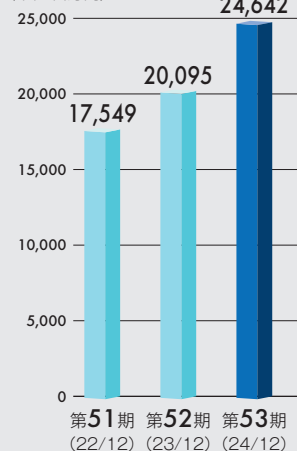
総資産

(単位:百万円)



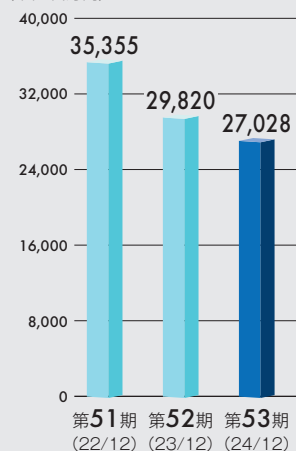
純資産

(単位:百万円)



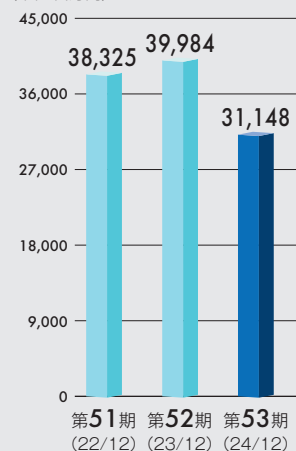
受注高

(単位:百万円)



受注残高

(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計 年度末 (2023年12月31日)	当連結会計 年度末 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産	39,420	40,731
固定資産	8,008	8,469
資産合計	47,428	49,200
負債の部		
流動負債	21,380	17,696
固定負債	5,952	6,861
負債合計	27,333	24,557
純資産の部		
株主資本	18,857	22,794
資本金	3,556	3,568
資本剰余金	3,415	3,430
利益剰余金	12,197	16,089
自己株式	△ 311	△ 293
その他の包括利益累計額	909	1,381
その他有価証券評価差額金	0	△ 0
為替換算調整勘定	909	1,382
非支配株主持分	327	466
純資産合計	20,095	24,642
負債及び純資産合計	47,428	49,200

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (自2023年 1月 1日 至2023年12月31日)	当連結会計年度 (自2024年 1月 1日 至2024年12月31日)
売上高	28,161	35,865
売上原価	19,603	24,009
売上総利益	8,558	11,855
販売費及び一般管理費	4,903	5,937
営業利益	3,654	5,917
営業外収益	307	181
営業外費用	71	100
経常利益	3,890	5,998
特別利益	11	3
特別損失	351	177
税金等調整前当期純利益	3,549	5,824
法人税、住民税及び事業税	1,321	1,638
法人税等調整額	△ 184	△ 106
当期純利益	2,413	4,292
非支配株主に帰属する当期純利益	56	45
親会社株主に帰属する当期純利益	2,356	4,247

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社概要&株式情報

▶ 会社概要 (2024年12月31日現在)

商号	タツモ株式会社
本社所在地	〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地
設立	1972年2月
資本金	3,568,590,682円
事業内容	半導体製造装置、搬送ロボット、FPD製造装置、プリント基板めっき装置、精密金型及び樹脂成形品などの開発・製造・販売
従業員数	414名(連結1,163名)
営業所・工場及び支店	第1工場・第3工場・第5工場/東京営業所
子会社	プレテック株式会社 TAZMO INC. 上海龍雲精密機械有限公司 TAZMO VIETNAM CO.,LTD. 龍雲亞普恩科技股份有限公司 龍雲阿普理夏電子科技(上海)有限公司 株式会社ファシリティ 富萊得(香港)有限公司 富萊得科技(東莞)有限公司 FACILITY HANOI CO.,LTD. 株式会社クオークテクノロジー 龍雲(紹興)半導体設備科技有限公司 龍雲研創(紹興)電子科技有限公司 龍雲同舟(紹興)電子科技有限公司
主要取引銀行	株式会社中国銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社商工組合中央金庫

▶ 取締役 (2025年3月26日現在)

代表取締役社長	佐藤泰之
取締役会長	池田俊夫
常務取締役	曾根康博
常務取締役	吉國久雄
社外取締役	勇木伸子
社外取締役 (監査等委員会委員長)	岡友和
社外取締役 (監査等委員)	藤原準三
社外取締役 (監査等委員)	石井克典

▶ 株式の状況 (2024年12月31日現在)

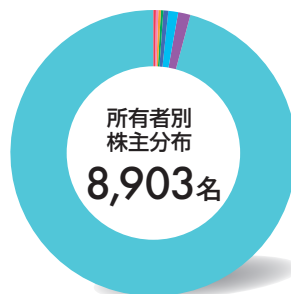
株式の総数

発行可能株式総数	40,800,000株
発行済株式の総数	14,842,354株
株主数	8,903名

大株主(上位10名)

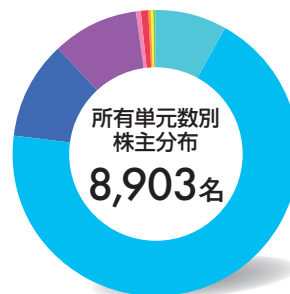
株主名	持株数	持株比率
株式会社大江屋	2,235,000 株	15.06 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,527,400	10.29
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505301	516,200	3.47
FUBON SECURITIES CO.,LTD. CLIENT 30	504,300	3.39
JP MORGAN CHASE BANK 380684	457,800	3.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	418,100	2.81
NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	319,206	2.15
中銀リース株式会社	304,500	2.05
鳥越 琢史	258,197	1.73
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	257,179	1.73

(注) 1. 持株比率は自己株式数(1,897株)を控除して算出しております。
2. 自己株式には従業員株式給付信託(J-ESOP)の導入に際して設定した株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式183,000株を含んでおりませんが、連結財務諸表においては自己株式として処理しております。



政府・地方公共団体	0名
銀行	2名
信託銀行	9名
生命保険会社	4名
損害保険会社	0名
その他金融機関	1名
金融商品取引業者	38名
その他法人	96名
外国法人等	124名
個人・その他	8,629名

*自己株式は個人・その他に含めて記載しております。



1 単元未満	736名
1 単元以上	6,155名
5 単元以上	970名
10 単元以上	876名
50 単元以上	61名
100 単元以上	73名
500 単元以上	8名
1,000 単元以上	20名
5,000 単元以上	4名

*自己株式 1,897 株は 10 単元以上に含めて記載しております。

タツモ株式会社

〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5311番地

▶ 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

(〒541-8502)

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業

●お問い合わせ先

0120-094-777(フリーダイヤル)

●各種お手続き用紙のご請求

株主関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公 告 の 方 法 電子公告

公告掲載URL <https://www.tazmo.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご案内

当社のホームページでは最新ニュースや製品紹介に加え、IR情報が一目でわかるIR情報インデックスを設け、個人投資家の皆さまに当社を深くご理解いただけるコンテンツを掲載しております。下記のアドレスよりご覧ください。



<https://tazmo.co.jp/>